

RV-230SE 定時更新（自動更新）でバージョンアップする方法

◆ 自動的に最新のファームウェアにバージョンアップする設定方法をご案内します

【はじめに】 定時更新(自動更新)の設定前にファームウェアのバージョンをご確認ください

ファームウェアのバージョンによって、設定方法が異なります。まずはファームウェアのバージョンを確認し、その後、バージョンに対応した設定を実施してください。

バージョン確認方法

◆ ファームウェアのバージョン確認手順をご案内します

1. Web設定画面に接続する



パソコンとRV-230SEのLANポートがLANケーブルで接続されていることを確認し、パソコンのWebブラウザのURL欄に「http://ntt.setup/」もしくは「192.168.1.1」を入力します。

2. Web設定画面へログインする



「ntt.setupに接続」または「192.168.1.1に接続」が表示されます。「ユーザー名」に「user」と入力し、「パスワード」に初期設定時に設定した「管理者パスワード」を入力し、「OK」をクリックします。

RV-230SE 定時更新（自動更新）でバージョンアップする方法

バージョン確認方法

3. ログイン後の表示画面を確認する

- ルータの設定状況によって、表示される画面が異なります

【初期設定が実施済みの場合】

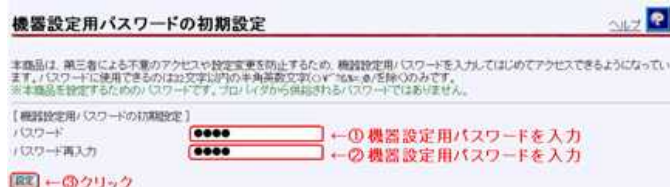
→ RV-230SEのWeb設定画面が表示

【初期設定が未実施の場合】

→ RV-230SEの初期設定画面が表示



手順4へ進む



【参考】ルータの初期設定が未実施の場合の設定方法(7ページ)へ進む

4. 「ファームウェア更新」画面を開く



「メンテナンス」から
「ファームウェア更新」を選択します。

5. バージョンを確認する



「ファームウェア更新」画面（左図の赤枠）より、バージョンの確認ができます。

バージョン確認後は、以下の手順に従って、設定を実施します

- Ver.2.53以前の場合はこちら → [3ページへ](#)
- Ver.5.06以降の場合は、次のどちらか一方を実施します
- パソコンから設定する場合 → [3ページへ](#)
- 電話機から設定する場合 → [6ページへ](#)

RV-230SE 定時更新（自動更新）でバージョンアップする方法

1. パソコンからの定時更新(自動更新)の設定手順

◆ パソコンのWEB設定画面における、定時更新(自動更新)の設定手順をご案内します

1. 「ファームウェア更新」画面を開く



「メンテナンス」から
「ファームウェア更新」を選択します。

2. 「アップデート設定」を定時更新に設定



「アップデート設定」にて
①「定時更新」を選択し、
②「定時更新時間」を指定します。

※設定された時間に自動的にバージョンアップを行います。その際に、RV-230SEの再起動が必要なため、お客さまが通常、ひかり電話やインターネット等をご利用にならない時間帯を選択してください。

【例】「定時更新時間」が5:00に設定されている場合、「5:00～5:59」の間に自動更新を実施

3. 設定を反映する



「設定」をクリックします。

RV-230SE 定時更新（自動更新）でバージョンアップする方法

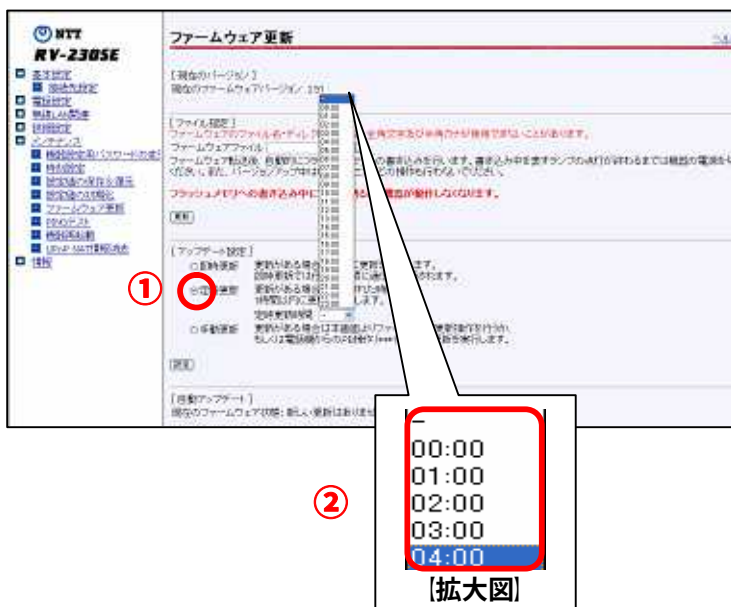
1. パソコンからの定時更新(自動更新)の設定手順

4. 「ファームウェア更新」画面を開く



「メンテナンス」から
「ファームウェア更新」を選択します。

5. 「アップデート設定」を定時更新に設定



「アップデート設定」にて

- ① 「定時更新」を選択し、
- ② 「定時更新時間」を指定します。

※設定された時間に自動的にバージョンアップを行います。その際に、RV-230SEの再起動が必要なため、お客さまが通常、ひかり電話やインターネット等をご利用にならない時間帯を選択してください。

【例】「定時更新時間」が5:00に設定されている場合、「5:00～5:59」の間に自動更新を実施

6. 設定を反映する

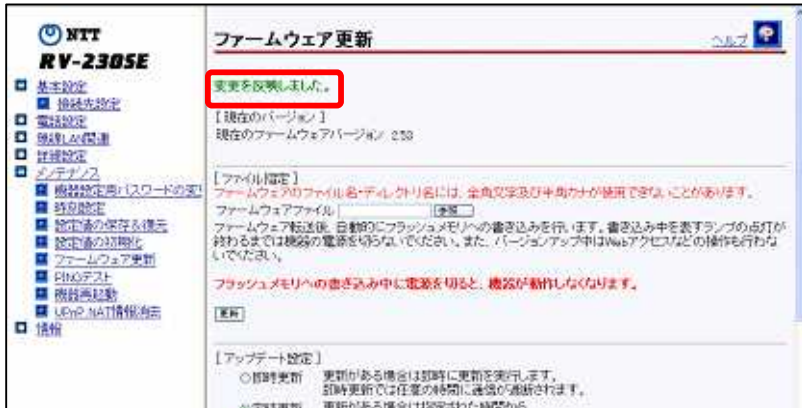


「設定」をクリックします。

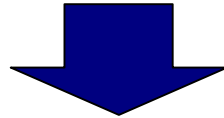
RV-230SE 定時更新（自動更新）でバージョンアップする方法

1. パソコンからの定時更新(自動更新)の設定手順

7. 設定変更の確認



「変更を反映しました」のメッセージが表示されます。



以上で「定時更新（自動更新）の設定」は終了です。
今後は、自動でバージョンアップが行われます。

RV-230SE 定時更新（自動更新）でバージョンアップする方法

II. 電話機からの自動更新の設定手順

◆ Ver.5.06以降のファームウェアにおける、電話機からの自動更新の設定手順をご案内します

1. 電話機のハンドセットを取りあげる



※電話機の電話回線ダイヤル種別を「DP」でお使いの場合は、「PB」に変更してください
(電話機の電話回線ダイヤル種別の変更方法は、電話機の取扱説明書をご覧ください)

2. 電話機のダイヤルボタンを

「 8 8 2 設定値 」と押す

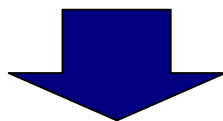
自動更新時間を入力します

24時間を2桁で入力します
(00～23の2桁)

例】9時の場合

※ 設定が完了すると「設定が完了しました」と音声ガイダンスが流れます
(設定に失敗した場合は、「設定に失敗しました。再度設定して下さい。」との音声ガイダンスが流れます。再度、ハンドセットを置いて手順1からやり直して下さい。)

3. ハンドセットを置く



以上で、「自動更新の設定」は終了です。
今後は、自動でバージョンアップが行われます。

※パソコンからの設定をされる場合は、3～5ページ「I. 定時更新(自動更新)の設定手順」をもとに設定が可能です

【参考】ルータの初期設定が未実施の場合の設定方法



【重要】バージョンアップ中のご注意

- ・バージョンアップによる再起動中は、ひかり電話やインターネット等の各サービスがご利用いただけません。
- ・ファームウェアのバージョンアップ中は、「ひかり電話対応ルータ」の電源を絶対に切らないでください。回復不能な故障の原因となります。
- ・ファームウェアのバージョンアップ中はひかり電話はご利用いただけません。通話中の場合は、通話を終了してから、ファームウェアのバージョンアップを行ってください。

1. パスワードの設定

機器設定用パスワードの初期設定

本商品は、第三者による不正のアクセスや設定変更を防止するため、機器設定用パスワードを入力してはじめてアクセスできるようになっています。パスワードに使用できるのはお文字列内の半角英数字(0-9,a-z,A-Z)を除くのみです。
※本商品を設定するためのパスワードです。プロバイダから提供されるパスワードではありません。

【機器設定用パスワードの初期設定】

パスワード ←① 機器設定用パスワードを入力
パスワード再入力 ←② 機器設定用パスワードを入力

←③ クリック

ルータの初期設定を行わずにご利用いただいている場合、**「機器設定用パスワードの初期設定」**が表示されます。

セキュリティ確保のためにパスワードを設定します。

【パスワード】、及び【パスワード再入力】を入力後【設定】をクリックします。

機器設定用パスワードは忘れないように必ずメモして安全な場所に保管してください。

2. 「設定」ボタンの押下

設定ウィザード

設定ウィザードでは、接続に必要な最低限の設定を行います。

接続先の設定を行います。
インターネットをご利用になる場合は、プロバイダから提供された情報を入力してください。

【接続先の設定】

接続先ユーザ名

接続パスワード

【フレッツ・スクウェア接続】

フレッツ・スクウェア

←クリック

「設定ウィザード」が表示されますので「設定」をクリックします。

RV-230SE 定時更新（自動更新）でバージョンアップする方法

【参考】ルータの初期設定が未実施の場合の設定方法

3. ファームウェアの更新

ファームウェア更新

新規バージョンのファームウェアがあります。「ファームウェア更新」ボタンをクリックしてください。

ファームウェア更新 ←クリック

[ファームウェア更新] ボタンをクリックします。

4. 「再表示」ボタンの押下

ファームウェア更新

ファームウェアの更新処理を開始しています。

ひかり電話通話中の場合には、通話終了（アナログ電話の場合はオンフック）後、一定時間経過後から更新ファームウェアのダウンロードを開始します。

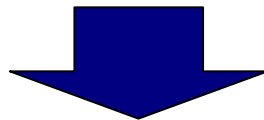
フラッシュメモリへの書き込みを行います。書き込み中は前面ランプが点灯します。点灯が終わるまでは、機器の電源を切らないでください。機器が動作しなくなることがあります。また、ダウンロード中はWebの操作も行わないでください。アラームランプが点灯すれば、再起動は完了です。再表示ボタンをクリックして、画面を再表示してください。

再表示 ←クリック

ファームウェアの更新中は、左図の画面が表示されます。

ひかり電話対応ルータのアラームランプが消灯し、バージョンアップによる再起動が完了したら、[再表示]ボタンをクリックします。

バージョンアップが完了するまで、絶対に電源を切らないで下さい。



以上で、ルータの初期設定は終了です

[「定時更新\(自動更新\)の設定手順\(2ページ\)手順4」へ戻る](#)